

令和4年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ハスモンヨトウ（野菜）

令和4年9月1日
鳥取県病害虫防除所

1 発生状況

- (1) 8月30日現在、大山町のブロッコリーほ場において、ハスモンヨトウによる葉の食害、卵塊および、若齢幼虫が確認されているので、今後、食害被害が増加することが懸念される。他地域では被害は確認されていない。
- (2) 8月第5半旬現在、フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数は、大山町で平年並、北栄町でやや少ない（図1-1, 1-2）。

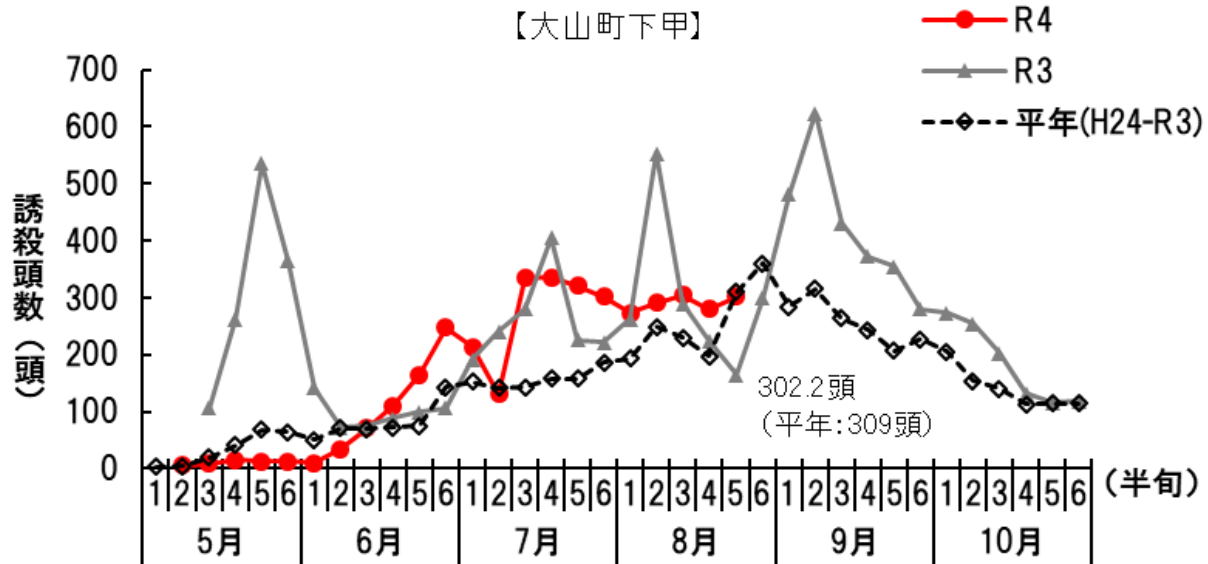


図1-1 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数（調査地点：大山町下甲）

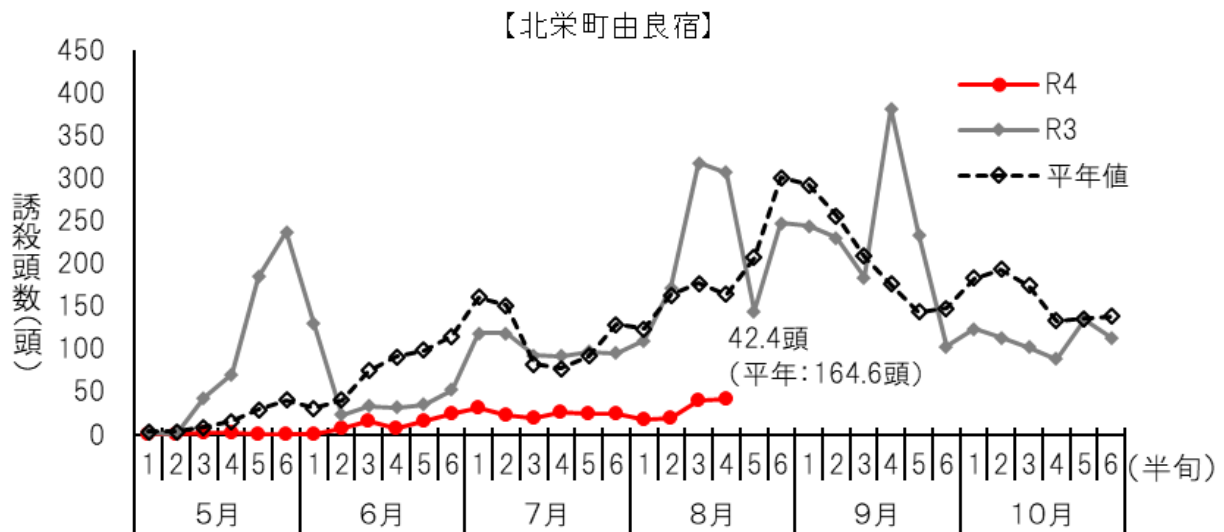


図1-2 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数（調査地点：北栄町由良宿）

2 防除上注意すべき事項

(1) 野菜

- ア 薬剤の感受性が高い若齢幼虫（体長 1 cm 以下）のうちに防除を行う。食害痕がみられはじめる頃が防除適期である。
- イ 食害痕は不整形の白斑となり、さらにかすり状に透けて見える。はじめ卵塊から孵化した幼虫は集団で産卵場所やその周辺にとどまり、葉の表皮を残して葉肉部を食害する。ほ場内を観察し、食害痕が目立つ株に注意する。
- ウ 食害痕および若齢幼虫の発生が見られた場合には、病害虫防除指針等を参照し薬剤防除を行う。